

「家族のおかげですよ」

菅野ツルノさん(比叡) 百歳賀寿



▲家族の皆さんと一緒に祝いの日を迎えました



菅野 ツルノさん (比叡)

長寿の秘訣

好き嫌いをしないこと。
適度な運動をすること。

家族みんなで迎える
100歳

11月18日、菅野ツルノさん(比叡)がめでたく100歳の誕生日を迎え、川俣町で百歳のお祝い百歳賀寿が行われました。菅野さんは、この日が来るのを楽しみにしていたようです。お祝いに駆けつけた家族や、県・村の関係者に「ありがとう、ありがとう」とこやかな表情を見せていました。



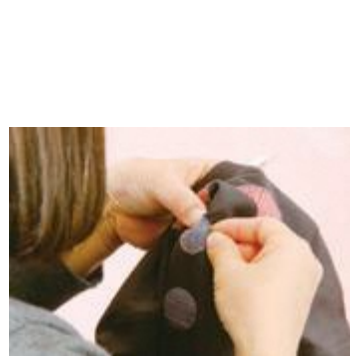
▲自分で作ったおにぎりを口いっぱい食べる児童



▲杵と臼を使った「餅つき」を体験

新米いただきます

11月9日、草野・飯樋・白石小学校でいたてっ子収穫祭が開催され、全校児童が自分たちで田植え・稲刈りをしたお米でおにぎりなどを作り、とれたての新米を味わいました。また、JAから提供されたもち米で餅つきを体験。つきたての餅を雑煮、あんこ餅ときなこ餅にして口いっぱいに頬張りました。また、この収穫祭には、職場体験や授業でお世話になった方を招待し、児童が好きな具材を詰めたおにぎりを振る舞いました。



お母さんが作ってくれた
スタイをつける佐藤一虎くん(3か月)



▲木のぬくもりある室内で、みんなでちくちく

ひと針、ひと針
気持ちを込めて

11月15日、子育て支援センタータースクすくすくで、会津木綿を使ったちくちくワークショップが行われました。参加した親子は、子ども用半袖シャツの模様付けや、スタイ(よだれかけ)を手縫いで作成。息子さん用にスタイを作った佐藤つばささん(伊丹沢)は「会津木綿の優しい色合いが素敵。大切に使用していきたいです」とあたたかい表情で感想を話しました。

会津木綿とは…

会津地方で古くから野良着などで広く使用されていた織物。最近では、美しい縞柄を生かした小物などが人気となっている。



▲紙粘土は、絵の具で自分の好きな色に色づけ



▲保育参観当日、子どもも大人も笑顔です

やまゆり保育所
最後の保育参観

11月18日、やまゆり保育所が川俣町の避難先での最後の保育参観を行いました。子どもたちは、季節の歌を家族の前で元気に歌ったり、紙粘土を使った花瓶を作ったりしながら嬉しそうな表情を見せていました。やまゆり保育所の機能は、来年4月から村内で開校する認定こども園に移ります。



▲紙粘土で使ったカラフルな花瓶を作りました



▲家族とふれ合う楽しい時間を過ごしました